寺内 曜子　Yoko Terauchi

1954　東京に生まれる
1977　女子美術大学芸術学部造形学専攻卒業
1978　同大学研究科修了
1979-81　セント・マーティンス美術大学（ロンドン） 彫刻科アドヴァンストコースに学ぶ
1983-84　ヘンリー・ムーア財団フェローとしてロンドンのカンバーウェル美術大学にて
アーティスト・イン・レジデンス
1979-98　ロンドン在住で作家活動
1999-　東京在住で作家活動

個展

2025　「一つとして在る世界」nohako (東京)
2023　「寺内曜子　一即多多即一」HAGIWARA PROJECTS（東京）
2021　「寺内曜子　パンゲア」豊田市美術館（愛知）
「寺内曜子展 満ち潮 引き潮」ふじ・紙のアートミュージアム（富士市、静岡県）
2019　「寺内曜子 退任展　London-Aichi」 愛知県立芸術大学サテライトギャラリーSA・KURA（名古屋）
2017　「スタンディング・ポイント１　寺内曜子」慶應義塾大学アートセンター（東京）
「寺内曜子の赤と青」かんらん舎（東京）
2016　「寺内曜子・回顧」かんらん舎（東京）
2015　「一即多多即一」星画廊（名古屋）
2013　アートラボあいち（名古屋）
2011　表参道画廊　（東京）
2010　「空中楼閣2010」　愛知県立芸術大学サテライトギャラリー（名古屋）
2009　「ONE Cut」スリーパー・ギャラリー（エジンバラ、スコットランド）
「ONE Hole」ケイアン・ギャラリー（ピッテンウイーム、スコットランド）
2001　「マルチプル」かんらん舎（東京）
「対象なき視覚のために」ギャラリーαM（東京）
2000　「TUES 2000　寺内曜子展」美ヶ原高原美術館（長野）
1998　シント・ルカス・ファウンデーション（ブリュッセル）
「寺内曜子『衝撃』」ギャラリー小柳（東京）
1996　「Hot Lines」ドイツ国立逓信博物館（ベルリン）
フルーツマーケット・ギャラリー（エジンバラ）
1994　チゼンヘール・ギャラリー（ロンドン）
1993　「Luftshloss」　カルテル（ハンブルク）
VKB ギャラリー（グムンデン、オーストリア）

ヴィクトリア・ミロ（ロンドン）
1992 かんらん舎（東京）
メンヒェングラートバッハ市立アプタイベルク美術館（ドイツ）
1991 ギャルリー・ホフマン（フリードバーグ、ドイツ）
かんらん舎（東京）
1990 「Loop & Pool」ケイアン・ギャラリー（グロスターシャー、イギリス）
「Ebb & Flow」109チャリング ・クロス・ロード（ロンドン）
1987 アスペクス・ギャラリー（ポーツマス、イギリス）
ヴィクトリア・ミロ（ロンドン）
アーノルフィニ（ブリストル、イギリス）
1986 ヨークシャー・スカルプチャー・パーク（ウェイクフィールド、イギリス）
クーパー・ギャラリー（バーンズレー、イギリス）
コーナーハウス（マンチェスター）
1985 「POOL」サウス・ロンドン・アート・ギャラリー（ロンドン）
1984 「Yoko Terauchi　Making Sculpture」リーズ市立美術館（イギリス）
1983 コラクル・プレス（ロンドン）

二人展

2022 「yoko terauchi und gary woodley」 galerie hoffmann, (Friedberg-Ossenheim,ドイツ)
1984 「Cuisin Art Tricot Art」121Art Gallery（アントワープ）(With Nicole Stenger ）

グループ展

2026. 「Ebb & Flow: Bookworks by Yoko Terauchi from the Research Library」Henry Moore Institute, リーズ, 英国
「Tokyo Jazz Club」旧カプセルホテル跡地（東京）
「柳瀬荘美術展」 東京国立博物館・柳瀬荘（所沢、埼玉）
「MOT コレクション はじめて、びじゅつ」東京都現代美術館（東京）
「From the museum collection 2025: 3rd period」愛知県美術館（愛知）
2025 「MOMAT Collection」東京国立近代美術館（東京）
「VISION｜星図 II：独りと、集団と」豊田市美術館（愛知）
「コレクション２　Undo, Redo わたしは解く、やり直す」国立国際美術館（大阪）
2024 「釜山ビエンナーレ2024」釜山現代美術館（韓国）
「かたちとゆらぎ」東京国立博物館・柳瀬荘（所沢、埼玉）
2023 「アートサイト名古屋城2023　想像の復元」名古屋城（愛知）
「彫刻と教育」東京国立博物館・柳瀬荘（所沢、埼玉）

「令和 4 年度新収蔵品展」豊田市美術館（愛知）
「コレクション　小さきものー宇宙／猫」豊田市美術館（愛知）
「追悼/ 設楽知昭」愛知県立芸術大学サテライトギャラリーSA-KURA

2022 「linien」galerie Hoffmann （フリートベルク、ドイツ）
「令和4年度第2回所蔵作品展『MOMATコレクション』」東京国立近代美術館
「AGAIN-ST Roots/Tools」武蔵野美術大学美術館・図書館（東京）
「Concept Japon」imprints-Galerie,（クレスト、フランス）
「女子美術大学美術館コレクションJAMのABC展鑑賞のプラクティス」女子美アートミュージアム（神奈川）
「[FIGUR]by Hagiwara Projects」CADAN有楽町（東京）
「15th edition triannual of sculpture」Campo & Campo（アントワープ）

2021 「Pacific Breeze II」White Conduit Projects（ロンドン）
「einblicke」 edition & galerie Hoffmann （フリートベルク、ドイツ）
「空間の中のフォルムーアルベルト・ジャコメッティから桑山忠明まで」
神奈川県立近代美術館 葉山

2020 「2020年度第3期コレクション展」愛知県美術館（愛知）
「Gommisti」imprints-Gallery（クレスト、フランス）
「INDIRECT '20」 愛知県立芸術大学（愛知）

2019 「丘の上のキャンパスから」愛知県立芸術大学サテライトギャラリーSA-KURA（名古屋）
「引込線／放射線」第19北斗ビル（所沢、埼玉）
「なんてラディカル！」かんらん舎（東京）
「The Size of Thoughts」 White Conduit Projects（ロンドン）
「From the Kitchen Table : Drew Gallery Projects 1984-90」Southwark Park Galleries（ロンドン）
「MOMAT コレクション」東京国立近代美術館
「MOT コレクション：ただいま／はじめまして」東京都現代美術館

2018 「From the Kitchen Table : Drew Gallery Projects 1984-90」Herbert Reid Gallery, UCA Canterbury
「Collection Ⅰ」国立国際美術館（大阪）

2017 「ビブリオテカ・アルテ 2017」長久手市中央図書館（愛知）
「引込線2017」旧所沢市立第２学校給食センター（埼玉）
「Re:コレクションⅠ　美術館を（一足早く）解体する」愛知県美術館

2016 「International Exhibition by AUA 2016 “ NANAIRO ＋“」瀬戸内国際芸術祭2016, 龍潜荘（女木島、香川）
「Hirose Collection 19」ヒロセコレクション（広島）

2014 「ある板前さんの眼」かんらん舎　（東京）
「アウェーゲーム」東京国立博物館 柳瀬荘（所沢、埼玉）
「Schema /Sukima」Laure Genillard（ロンドン）

2013 「International Exhibition by AUA 2013 “ NANAIRO “」瀬戸内国際芸術祭2013, 龍潜荘（女木島、香川）
「Little Vehicle」星画廊（名古屋）
2012 「Printed in Norfolk」Site Gallery （シェフィールド・英国）他
2011 「Aphasic Disturbance」 Chelsea Space（ロンドン）
2010 「Japanische Visuelle Poesie & Miteinander」Schloss Dugstuhl - Leibniz Zentrum fur Informatik（ ザールブリュッケン、ドイツ）
「Visual Poetry-Concrete Texts」Vasarely-Museum of Fine Arts（ブタペスト）
2009 「Japanische Visuelle Poesie II」Kunst Universitat Lintz（オーストリア）
「Japan」Slewe Gallery （アムステルダム）
「Japanische Visuelle Poesie : 34 Kunstler aus Japan」kunsttempel(カッセル、ドイツ)
2008 「The Open Page コラクル 拡張したアーティストブック」愛知県立芸術大学芸術資料館（愛知）
「Japanisch Visuelle Poesie & Loughter In Sinobara」Akademy Galerie（ Plauen,ドイツ）
Galerie Riedmiller（ バート・グレーネンバッハ、ドイツ）
2007 「30年分のコレクション」国立国際美術館（大阪）
「rooms」名古屋市民ギャラリー矢田（愛知）
「Japanisch Visuelle Poesie & Loughter In Sinobara」Institute Fur Konstruktive kunst Und Konkrite Poesie（レーハウ,ドイツ）
2006 「愛知・シルパコーン交流展」 シルパコーン大学アートセンター（バンコク、タイ）
「Collection 4」 国立国際美術館（大阪）
2005 「ビブリオテカ・アルテ200５」 長久手町中央図書館（愛知）
2004 「透過する光」かんらん舎（東京）
2002 「JOSHIBI NEW WAVE Part2 A Spontaneous Stile-自発性」 女子美アートミュー ジアム（神奈川）
「Japanische Visuelle Poesie 」 リンツ美術大学（オーストリア）／Forum Konkrete Kunst Erfurt(ドイツ)／ Institute fur Konstruktive Kunst und Konkrete Poesie（レーハウ、ドイツ）/オーストリア大使館 Cultural Forum Gallery（東京）/ Galerie Lindner（ウイーン）
「アクツ・オブ・リニューアル」ヴィクトリア＆アルバート美術館（ロンドン）
2000 「in other eyesーそれぞれのまなざし」女子美術大学美術資料館（神奈川）
「空間体験ー国立国際美術館への６人のオマージュ」国立国際美術館（大阪）
1999 「エキノックス」ケイアン・ギャラリー（グロースターシャー、イギリス）
「ポジショネン」バウハウス（デッサウ、ドイツ）
1997 「紙＝美術３」ノイエ・クンストフェライン・アシャフェンベルク（ドイツ）
「ページの空間」ヘンリー・ムーア・インスティテュート（リーズ、イギリス）
「プロポジションス」ケイアン・ギャラリー（グロースターシャー、イギリス）
「トランスパランツ」edition & galerie Hoffmann（フリートベルク、ドイツ）
1996 「オープン・ドア」ハンガリー国立美術アカデミー（ブダペスト）
「オウステラング」edition & galerie Hoffmann（フリートベルク、ドイツ）

1995 「50人の作家　50点の作品」佐谷画廊（東京）
1993 「彫刻家のドローイング__この4世紀」 ミストドロチテルスキーパレス・モラヴスカ・ギャラリー （ブルーノ、チェコ）
1992 「彫刻の遠心力ーこの10年の展開」国立国際美術館（大阪）
「Ryo(旅)：５人の在外日本人彫刻家」シンガポール国立美術館
「オンリー・ペーパー？」 ベルギッシュグラッドバッハ市立ヴィラ・サンダース美術 館（ドイツ）
「イマジナリー・インスタレーション」 ケイアン・ギャラリー（グロースターシャー、イギリス）
1991 「11人の女性アーティスト」ヴィクトリア・ミロ（ロンドン）
1990 「第26回今日の作家展'90＜トリアス＞」横浜市民ギャラリー
「三人展」かんらん舎（東京）
「80年代から90年代へ」アスペクス・ギャラリー（ポーツマス、イギリス）
1989 「現代美術への視点　色彩とモノクローム」　東京国立近代美術館／京都国立近代　美術館
1988 「インターナショナル・ペーパー・アート・ビエンナーレII」レオポルド・ホーシュ美術館（デューレン、ドイツ）
「レヴュー」ヴィクトリア・ミロ（ロンドン）
1987 「エッセンス」かんらん舎（東京）
「イギリスのアイデンティティー」エキモス（ボルドー、フランス）
1986 「第三世代」カンタベリー・フェスティバル（イギリス）
「海と陸のあいだの鉄」ヴィクトリア・ミロ（ロンドン）
1985 「Sculptors at work」カンタベリー・フェスティバル（ケント、イギリス）
「ランドスケープ・インテリア」コラクル（ロンドン）
「ジャパネスク」モスティン・アート・ギャラリー（ランダドノー、イギリス）
1984 「ローテック」コラクル（ロンドン）
「サロン・ドートンヌ」サーペンタイン・ギャラリー（ロンドン）
「ペーパー・トレイルズ」ブルーコート・ギャラリー（リバプール）
「リピート」コラクル（ロンドン）
「アティテューズ '84」ヨークシャー・スカルプチャー・パーク（イギリス）
「インターナショナル・ガーデン・フェスティバル」（リバプール）
「プリューヴァリュー」ギャルリー・エリック・ファーブル（パリ）
「スカルプチャー・ニュー・ディレクションズ」クリーブランド・ギャラリー
（ミドルスボロー、イギリス）
1983 「アッセンブル・ヒア！」コラクル・パックビルディング（ニューヨーク）
「ザ・スカルプテャー・ショー」ヘイワード・ギャラリー& サーペンタイン・ギャラリー（ロンドン）
「タング・アンド・グルーブ」コラクル・プレス（ロンドン）
1981 「ニュー・コンテンポラリーズ」ICA（ロンドン）

1979　「第１回ヘンリー・ムーア大賞展」箱根彫刻の森美術館（神奈川）

受賞

2023　「令和4年度　愛知県芸術文化選奨」文化賞
2000　「TUES賞」美ヶ原高原美術館
1983　「ヘンリー・ムーア財団フェローシップ、アーティスト・イン・レジデンス」（英国）
1979　「第１回ヘンリー・ムーア大賞展」エミリオ・グレコ賞　（箱根彫刻の森美術館）

パブリックコレクション

東京国立近代美術館
国立国際美術館（大阪）
東京都現代美術館
豊田市美術館（愛知）
愛知県美術館
美ヶ原高原美術館（長野）
ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館（ロンドン）
リーズ市立美術館（イギリス）
ヘンリー・ムーア・インスティテュート（リーズ）
ヨークシャー・スカルプチャー・パーク（イギリス）
グリン・ヴィヴィアン・アートギャラリー（スワンジー、イギリス）
メンヒェングラッドバッハ市立アプタイベルク美術館（ドイツ）
ベルギッシュグラッドバッハ市立ヴィラ・サンダース美術館（ドイツ）
ドイツ国立逓信博物館（ベルリン）
ドイツ郵便博物館（フランクフルト）
オーストリア国立工芸博物館（ウィーン）
グムンデン市立カマホフ美術館（オーストリア）
ワシントン・ナショナル・ギャラリー（ワシントンDC）
ニューヨーク市立図書館（USA）
シカゴ大学（USA）
ゲティー・センター（カリフォルニア）
ウオーカー・アート・センター　（ミネアポリス）
アルバータ大学（カナダ）
女子美アートミュージアム（相模原・神奈川）
チェルシー美術大学（ロンドン）
愛知県立芸術大学芸術資料館

出版物　（アーティストブック）

"Terra"　　コラクル、ロンドン　　1984年10部
"Ebb & Flow"　コラクル、ロンドン　　1988年20部
"Cuckoo"　　コラクル、イングランド　1992年30部
"Coil / Join"　コラクル、イングランド　1995年22部
“ ONE “　　コラクル、アイルランド　2012年20部

カタログ　（個人作品集）

"Yoko Terauchi　Paper & Wire & Lead" コーナーハウス、マンチェスター　1986年
"Yoko Terauchi"　メンヒェングラッドバッハ市立アプタイ美術館、ドイツ　1992年
"Yoko Terauchi"　チゼンヘイル・ギャラリー、ロンドン　&
フルーツマーケット・ギャラリー、エジンバラ　1996年
"Yoko Terauchi　Hot-Lines"　ドイツ国立逓信博物館、ベルリン　1996年
"TUES 2000　寺内曜子展"　美ヶ原高原美術館、長野　2000年
“スタンディング・ポイントⅠ　寺内曜子”　慶應義塾大学アートセンター、東京　2017年

プロジェクト

1994　「クレジット・スイス銀行」ロンドン新社屋壁面彫刻制作
1991　ベルギッシュグラッドバッハ市立ヴィラ・サンダース美術館（ドイツ）
壁面彫刻制作
1990　リーズ・フェスティバル（イギリス）　彫刻・ダンス・音楽　コラボレーション
彫刻（舞台美術）：寺内曜子
振り付け：ソフィア・プレストン、ベス・トンプソン
作曲：グレアム・コートマン
企画：ヨークシャー・ダンス・センター
1986　"Holding water"　ナショナル・ユース・ダンス・フェスティバル（イギリス）
彫刻・ダンス　コラボレーション
彫刻：寺内曜子
振り付け：グレゴリー・ナッシュ
企画：ヨークシャー・スカルプチャー・パーク